

# 切らずに治す前立腺がん

放射線科: 斎藤泰雄 (がん診療部第1部長)

泌尿器科: 越田 潔 (外科系診療部長)

高齢化社会の到来で、わが国の前立腺がんの罹患率が大幅に増加しています。特に、PSA(前立腺特異抗原)の普及により、検診で発見される早期の前立腺がんが増えています。この傾向を受けて、新しい治療法が注目を集めています。それが、**前立腺がんヨウ素 125 密封小線源 永久挿入治療法**です。略して“前立腺がん小線源治療”と言います。

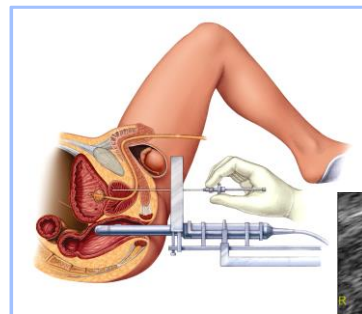
シード(種子状)に加工したヨウ素 125 という放射性同位元素から出るガンマ線でがんを治療する方法です。ヨウ素 125 は半減期 60 日で減衰していき、約 1 年もするとただの金属になってしまいますので、取り出す必要もありません。それで、前立腺内に永久留置したままでも大丈夫なのです。また、放出されるガンマ線のエネルギーは約 30Kv と極めて弱く、周囲の方への影響は自然界から受ける放射線より少なく、この点でも安全性の高い治療法なのです。

アメリカでは 10 年以上の歴史を有する治療で、手術と変わらない治療成績が得られています。わが国では 2003 年に東京医療センターで開始され、当院も 2007 年 3 月から実施しています。現在は、右表の適応基準に従って治療しています。患者さんの肉体的負担は少なく、入院も 3 泊 4 日と極めて短期間です。

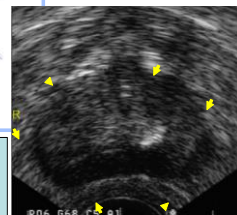
なお、線源は密封されていますので、下着を汚染することはありません。洗濯はこれまで通りで構いません。また、空港での金属探知機には反応せず、MRI 検査も受けることができます。但し、治療後 1 年間は放射線探知機に反応しますので、海外旅行される場合は医師の治療証明書が必要です。当然ですが、前立腺の大きさによって埋め込む線源数は異なります。従って、事前に経直腸超音波検査を行って前立腺の体積を計測し、処方線量を与えるのに必要な線源数を決める必要があります。言わば、患者さんごとのオーダーメイド治療で、泌尿器科医、放射線治療医、麻酔医、看護師(手術場、南 2 病棟看護師、泌尿器科外来)、放射線技師が協力するチーム医療です。

**治療の副作用;**放射線尿道炎による排尿痛、排尿困難、頻尿ですが、4~5ヶ月で改善します。

**気になる治療費は?** 保険診療です。4 日間入院で、治療費は約 100 万円です。3 割負担の方では自己負担額は約 30 万円となります。但し、使用する線源数や薬の種類などにより多少増減します。詳細な内訳は上の通りです。



経直腸エコー下  
I-125密封小線源  
前立腺永久挿入療法



経直腸超音波画像を見ながら、会陰部から細い針を刺して、予め計画された前立腺内の決められた部位へ線源を永久留置する。入院は3泊4日と短く、治療時に痛みはない。

## 《前立腺小線源治療の適応になる方》

- 1) 前立腺内に留まっている早期がん
  - 2) 5 年以上の余命が期待できる方
  - 3) 過去に、骨盤内の放射線治療や前立腺肥大症の手術を受けていない方
  - 4) 碎石位が取れ、治療内容と治療後の生活上の留意点を理解できる方
  - 5) PSA < 10 ng/ml かつグリーンソスコア(前立腺がんの悪性度)が 7 までの方
- \* PSA ≥ 10 ng/ml やグリーンソスコア ≥ 8 の悪性度が高い方  
→ この治療後に放射線治療(40 グレイ/20 回)を追加します。

前立腺永久挿入療法料: 48,600 点  
放射線治療管理料: 3,400 点  
線源代(1 個 630 点): 60 個使用とすると、630×60=37,800 点  
入院料: 9,537 点  
投薬、検査、麻酔料など: 6,825 点  
合計: 106,162 点(1,061,620 円)

